

## 第 6 回佐賀地方最低賃金専門部会

- 1 日時 令和 7 年 8 月 26 日（火） 10：00～15：55
- 2 場所 佐賀第 2 合同庁舎 5 階 共用大会議室 1
- 3 出席者  
公益代表：甲斐委員（部会長）、安永委員（部会長代理）、早川委員  
労働者代表：松尾委員、諸富委員、彌常委員  
使用者代表：西岡委員、平野委員、福母委員  
事務局：恒吉労働基準部長、河野賃金室長、岩竹室長補佐、  
伊東賃金調査員
- 4 議題
  - (1) 佐賀県最低賃金額の改正について
  - (2) その他

## 【第1回全体会議】

### ○岩竹室長補佐

定刻となりましたので、審議に入ります前に事務局から御報告いたします。

本日は最低賃金審議会令第6条第6項に規定する定足数に達していることを御報告申し上げます。

それでは、部会長、議事の進行をよろしく申し上げます。

### ○甲斐部会長

皆様、おはようございます。

本日もどうぞよろしくお願いいたします。

ただ今から第6回佐賀県最低賃金専門部会を開催いたします。

審議に入る前に、食料の消費者物価指数について、佐賀と全国を比較した資料の作成を事務局に依頼しましたので、それらの説明をお願いいたします。

### ○河野賃金室長

机上に配付しております資料の1枚目をご覧ください。こちらは、消費者物価指数の「総合」とそのうち「食料関係」の対前年上昇率の推移をまとめた資料になります。表の方が、総合指数になっておりまして、これは中賃の資料から全国の数字を抜粋したものとなっております。昨年度の最賃が改定された10月から直近の今年6月までの数字と、この9か月間の平均を右端に記載しておりまして、全国の9か月間の平均は3.9になります。

下の方に、佐賀市の消費者物価指数、全国と同じ期間の数字を並べておりまして、この9か月間の佐賀市の平均は、全国と同じ3.9になっております。

更にその下には、長期スパンの推移を確認できるように、2019年から対前年比の数字を記載しております。

裏面は、消費者物価指数の「食料関係」の推移となっております。全国の方は、表面と同様に中賃の資料から抜粋したものになりますが、昨年10月から今年6月までの9か月間の平均は6.4になります。下の方には、佐賀市の消費者物価指数の、「食料」を取り出して記載したものになりますが、昨年の10月から今年6月まで9か月の平均が7.68となっております。更にその下の方に、2019年からの対前年比の数字をまとめております。

続きまして、昨日までに結審した状況一覧ですが、Cランクでは、昨日宮崎が1,023円、秋田が1,031円で結審しておりますので、皆様にお知らせします。私からは以上です。

### ○甲斐部会長

はい、ありがとうございました。ただ今の事務局から提出された資料につきまして、御意見、御質問等ございますか。

（意見、質問なし）

○甲斐部会長

それでは、本日の審議を進めていきたいと思います。本日は、6回目ということもありまして、是非、結審をしたいと考えております。公益としましても、かなり多くのデータを分析してまいりましたので、公益としての意見も申し上げたいと考えております。

そのためにも、それぞれの数字を今出していただいているのですけれども、使側の方から最初の42円というところで、それ以上は難しいという御意見を伺っております。これについて、再考の余地はありますでしょうか、というところから始めたいと思うのですけれどもいかがでしょうか。

ひとつは前回、効力発生日を検討するということで、それぞれ検討してきた次第です。やはり準備期間が必要だということもありますし、一方では、労働者にとって損失にならないような考え方というのも非常に重要だと考えておりますので、そういったことも含めて、今日は御相談して、結審に向けていきたいと思っています。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○甲斐部会長

それでは一度、控室に行ってください、私たちも検討すべきこともありますので、それぞれ時間を取りたいと思います。20分ぐらいでよろしいでしょうか。

一旦、使用者側の皆さんからお呼びしたいと思いますので、20分ぐらいを目途に戻ってきていただければと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○甲斐部会長

それでは、それぞれ控え室の方に移動をお願いいたします。

〔労働者側委員・使用者側委員退室〕  
〔労働者側委員・使用者側委員・公益委員と個別折衝〕  
〔労働者側委員・使用者側委員入室〕

【第2回全体会議】

○甲斐部会長

それでは、よろしいでしょうか。

皆様、大変お待たせいたしました。

当専門部会は、去る8月5日から本日まで6回にわたり審議を重ねてまいりましたが、公益委員としましては全会一致を目標にして、個別に協議を行いながら労使双方の意見を踏まえ、公益委員の意見を労使双方にお伝えしながら御協力をお願いしてきたところです。

しかしながら、その金額につきまして、合意を見いだすことができませんでした。

そこで、これから公益委員で協議をしまして、公益見解としての金額提示を行いたいと思いますが、いかがでしょうか。

（異議なし）

#### ○甲斐部会長

それでは、全会一致という結論が得られませんでしたので、公益として公益見解を提示させていただきます。

引上げ額を 74 円とし、1 時間 1,030 円とし、効力発生日を令和 7 年 11 月 21 日とする。これを公益見解として御提示いたします。

それでは、これから採決に移りたいと思います。

#### ○福母委員

使用者側は退席をさせていただきます。

〔使用者側委員退室〕

#### ○甲斐部会長

それでは、採決を行いたいと思います。

公益として公益見解を提示させていただきます。

引上げ額を 74 円とし、1 時間 1,030 円とする。効力発生日を令和 7 年 11 月 21 日とする。これを公益見解としてご提示いたします。

賛成の方は、挙手をお願いいたします。

（挙手：公益側 2、労働者側 3）

反対の方は、挙手をお願いいたします。退席をされた方は反対ということでカウントさせていただきます。

（退席：使用者側 3）

本日の専門部会を 3 名の方が退席されました。最低賃金審議会令第 5 条第 2 項によると、委員の 3 分の 2 以上又は労働者関係委員、使用者関係委員及び公益関係委員の各 3 分の 1 以上が出席しなければ、会議を開き議決をすることができないとされておりますが、棄権者は出席委員に算入することとされております。

また、最低賃金審議会令第 5 条第 3 項によると、審議会の議事は、出席者の過半数の賛成により決定するとされております。過半数の基準としては棄権者等を出席員に算入しますので、賛成 5 名、反対 3 名ということで、当専門部会としては、佐賀県最低賃金につきましては、引上げ額を 74 円とし、1 時間 1,030 円とする。効力発生日を令和 7 年 11 月 21 日とする。

また、最低賃金と生活保護にかかる施策との整合性については、平成 20 年 8 月 6 日付け、中央最低審議会の平成 20 年度地域別最低賃金の目安について（答申）の考え方に基づき比較したところ、令和 6 年 10 月 17 日発効の佐賀県最低賃金時間額 956

円は、令和５年度の佐賀県の生活保護費を下回っていなかったので結審することとし、本審議会会長宛てに報告することとします。

報告書の案の作成をしますのでしばらくお待ちください。

〔使用者側委員入室〕

（報告書案の配付）

### ○甲斐部会長

はい、それでは、報告書の案がお手元に届いたと思います。  
事務局より朗読お願いいたします。

### ○河野賃金室長

それでは朗読をさせていただきます。

令和７年８月２６日、案、佐賀地方最低賃金審議会会長甲斐今日子殿、佐賀地方最低審議会佐賀県賃金専門部会部会長甲斐今日子、佐賀県最低賃金の改正決定に関する報告書、当専門部会は令和７年７月１４日佐賀地方最低賃金審議会において付託された佐賀県最低賃金の改正決定について、慎重に調査審議を重ねた結果、別紙１のと通りの結論に達したので報告する。

また、別紙２のとおり、平成２０年８月６日付け中央最低賃金審議会の「平成２０年度地域別最低賃金の目安について（答申）」の考え方に基づき最新のデータにより比較したところ、令和６年１０月１７日発効の佐賀県最低賃金（時間額 956 円）は令和５年度の佐賀県の生活保護費を下回っていなかったことを申し添える。

本件の審議に当たった専門部会の委員は別紙３のとおりである。

なお、中小企業・小規模事業者が事業を継続し、雇用を維持・確保しながら、収益力改善や継続的な賃金引上げの原資確保を図るため、下記のとおり政府等に対して要望する。

#### 記

- １ 業務改善助成金等の国及び県の助成金制度については、その活用について広く周知に取り組むとともに、最低賃金引上げの影響を強く受ける中小企業・小規模事業者の利用が進み、賃金の引上げに結びつくよう、より一層丁寧な対応を図ること。
  - ２ 価格転嫁対策について、他省庁と有機的な連携を図り、中小企業・小規模事業者が賃金引上げの原資を確保できるよう、労務費、原材料費、エネルギーコスト上昇分の適切な転嫁に向けた取組の強化を図ること。
- 以上。

#### 別紙１ 佐賀県最低賃金

- １ 適用する地域 佐賀県の区域。
- ２ 適用する使用者 前号の地域内で事業を営む使用者。
- ３ 適用する労働者 前号の使用者に使用される労働者。
- ４ 前号の労働者にかかる最低賃金額 １時間 1,030 円。

- 5 この最低賃金において賃金に算入しないもの 精皆勤手当、通勤手当及び家族手当。
- 6 効力発生日 令和7年11月21日。

別紙2 佐賀県最低賃金と生活保護との比較について

1 最低賃金

- (1) 件名 佐賀県最低賃金
- (2) 最低賃金額 時間額 956 円
- (3) 発効日 令和6年10月17日

2 生活保護費

- (1) 比較対象者 12～19 歳・単身世帯者
- (2) 対象年度 令和6年度
- (3) 生活保護費(令和5年度)

生活扶助基準(第1類費+第2類費+期末一時扶助費)の佐賀県内人口加重平均に住宅扶助の実績値を加えた金額(91,817 円)

3 生活保護費に係る施策との整合性について

令和6年10月17日発効の佐賀県最低賃金の1か月換算額と、上記2(3)に掲げる金額とを比較すると佐賀県最低賃金額が下回っているとは認められなかった。

別紙3には、当専門部会の委員の皆様の名簿を付けております。

以上でございます。

○甲斐部会長

はい。ありがとうございました。

ただ今、朗読していただきました、佐賀県最低賃金の改正決定に関する報告書案でよろしいでしょうか。異議がないようですので、案を抹消して報告書に代えさせていただきます。本審議会会長宛に報告することといたします。

次に、その他ですが、事務局何かございますか。

○河野賃金室長

続いて、本審を本日8月26日(火)16時30分から開催いたしますのでよろしくお願いいたします。

○甲斐部会長

はい、それでは、以上をもちまして専門部会を終了いたします。

議事録の署名につきましては、労働者側は諸富委員、使用者側は西岡委員にお願いいたします。

長時間の御審議、大変お疲れ様でした。

部会を閉じさせていただきたいと思います。

ありがとうございました。

部 会 長

---

労働者代表委員

---

使用者代表委員

---